

INTERVIEW #02

受講者インタビュー

学びが進路が変わる瞬間
—Sプロジェクトで見つけた志望校
3年7組 T・C



S P R O J E C T

学びの出会いが 進路を変え、 中央大学へ

3年間のSプロジェクトで積み重ねた経験は、興味や関心の変化に寄り添いながら、本当に学びたい分野を見つける土台となりました。1年次の将来を考える講座、2年次の芸術への挑戦、3年次の国際情勢の学びがつながり、進路への考え方がより明確になりました。

特に3年次の「被爆80年目の日本と世界を考える」は大きな転機となり、核や戦争の学びを通して法学志望から「歴史を学びたい」という思いへと変化しました。この経験が史学専攻を選ぶ自信につながりました。



Sプロジェクトが進路を 切り拓いた3年間の学び

将来への第一歩として選んだ講座

1年生では、早い段階から将来を考えたいと思い、「夢見る女子におくる“社長”へのはじめの一歩」や「自分を知る講座」を選びました。経済にも興味があり、お金の仕組みや自分の適性を知ることで将来像をつかみたいと考えていました。

美大志望だった自分を深めるために

2年生では、美術大学進学を視野に入れたため「芸術系 実技力アップ講座」を受講。デッサンや理論を学び、当時の興味をより深める機会となりました。

歴史への関心が進路を決定づけた

3年生では、歴史への関心が高まっていたことから亜細亜大学の「被爆80年目の日本と世界を考える」を受講。「核の傘」などの学びが強く心に残り、これをきっかけに法学志望から史学専攻へと進路を決める大きな転換につながりました。